

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。

それでも正常に作動しないときは、お買い上げ店、ソニーサービス窓口、またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

- 音声記録されていない
 - DCR-SC100のマイク（プラグインパワー）端子にマイクプラグをしっかり差し込む。
- スポーツバック内部に水滴がつく
 - バックルをカチッとロックされるまで締める。
 - 防水パッキンを正しく装着する。
 - 防水パッキンに傷、ヒビ割れが入っている場合、新しいものと交換する。
- 撮影ができない
 - バッテリーパックを十分に充電する。
 - DCR-SC100のLANC 🔌（リモート）端子にリモートプラグをしっかり差し込む。
 - テープが終わりになっている場合、別のカセットを入れる。またはテープを巻き戻す。
 - カセットの誤消去防止つまみを戻す。または別のカセットを入れる。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社ではスポーツバックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
型名：SPK-SC100
故障の状態：できるだけ詳しく
お買い上げ日

取り扱い上の注意

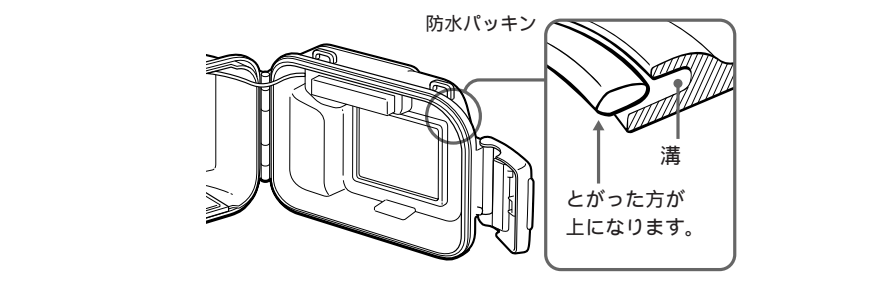
- 本体の前にあるガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上でのスポーツバックの開閉はできるだけ避けてください。ビデオカメラレコーダーの取り付けやテープ交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- スポーツバックを水中に投げ込まないでください。
- 次の場所でのご使用は避けてください。
 - 高温多湿な場所
 - 40℃を越える温水の中
 - 0℃以下の場所
- 結露、水漏れ、ビデオカメラレコーダーの故障の原因になります。
- 周囲温度が35℃を越えるときのご使用は、連続1時間以内に行ってください。
- 炎天下に長時間放置しないでください。直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけておいてください。

水漏れについて

万一内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。ビデオカメラレコーダーが濡れた場合は、至急お近くのソニーサービス窓口へお持ちください。

防止パッキンについて

- 防水パッキンの傷やヒビ割れは浸水の原因になります。直ちに新しいものと交換してください。防水パッキンを溝からはずすときに、とがったものや金属を使うと溝に傷をつける恐れがありますので使用しないでください。
- 防水パッキン全面に付属のシリコングリスを指先で薄く塗ってください。防水パッキンの磨耗を防ぎます。布や紙にシリコングリスをつけて塗ると、繊維が防水パッキンに付着することがありますので使わないでください。
- 防水パッキンを装着するときは、防水パッキン全面に付属のシリコングリスを薄く塗り、とがった方を上にしてねじれないように注意しながら入れてください。



- 防止パッキンの寿命は使い方によって異なりますが、防水性能を維持するため1年に1度は交換することをおすすめします。交換するときは、ソニーサービス窓口へお持ちください。交換後は、必ず水漏れの確認をしてください。

水漏れの確認方法

防水パッキン交換後は、ビデオカメラレコーダーを収納する前にスポーツバックを閉じて、水中（15cm位）に約3分間沈めて水漏れがないことを確認してください。

お手入れのしかた

ご使用後は

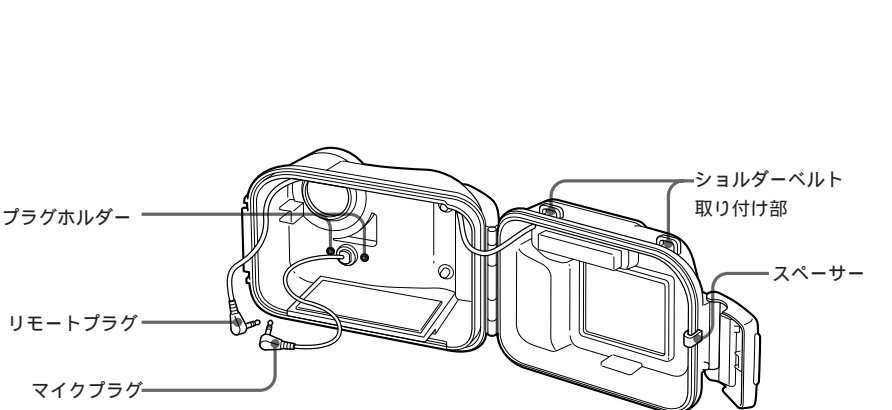
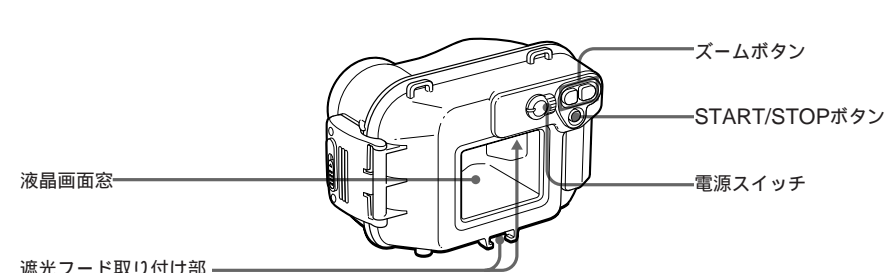
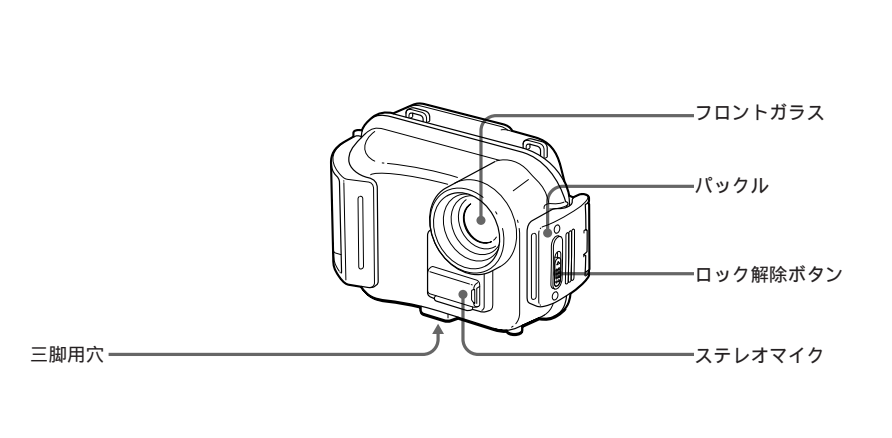
- 防水パッキン、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、防水パッキンに薄く均一にシリコングリスを塗ります。
- スポーツバック内部は、乾いた柔らかい布でふき、水洗いしないでください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので、使わないでください。
- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。塩分が残ったままにしておくと、金属部分がさびることがあります。

ガラス面のくもり防止について
スポーツバック前部のガラス面に付属のくもり止め（ガラスクリーナー）を塗布すると、くもり防止に効果があります。
フロントガラスや液晶画面窓の内側に1～2滴たらし、柔らかい布やティッシュペーパーなどでクリーナー液が均等に広がるように拭いてください。

保管するときは

- 防水パッキンの劣化を防ぐため、ボディーを閉じたあとバックルは締めないでください。お買い求めいただいた時についていたスぺーサーをご使用ください。
- 防水パッキンにホコリがつかないようにしてください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は、機材をいためますので避けてください。

各部のなまえ



主な仕様

材質	付属品
プラスチック（PC、ABS）、ガラス	ショルダーベルト（1）
防水構造	遮光フード（1）
防水パッキン、バックル	シリコングリス（1）
耐圧	くもり止めリキッド（1）
水深2mまで	取扱説明書（1）
外部より操作可能な動作	保証書（1）
撮影・再生時の電源入／切、録画開始／停止、ズーム操作	ソニーご相談窓口のご案内（1）
最大外形寸法	マリンバック・スポーツバック用品損害保険のご案内（1）
190×124×118mm	
（幅／高さ／奥行き）	
質量	
約500g（本体のみ）	

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

スポーツバック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、必ず保管してください。

必ずお読みください。 <ul style="list-style-type: none">必ず事前に、正常に動作するか、水漏れはないかを確認してください。 万一、スポーツバックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（ビデオカメラレコーダー、バッテリーなど）の損傷、および記録内容や撮影に要した諸費用などの補償は、ご容赦ください。 スポーツバックおよび内部機材に対するソニーマリンバック・スポーツバック用品損害保険を用意しております。案内書をお読みのうえ、加入されることをおすすめします。

	この純正マークは、ソニー（株）のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。ソニー（株）のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

SPK-SC100

Sony Corporation © 1997 Printed in Japan

主な特長

本機はデジタルビデオカメラレコーダーDCR-SC100専用のスポーツバックです。お手持ちのデジタルビデオカメラレコーダーDCR-SC100に本機を取りつけると雨天時や海辺（水中では2m以内）での撮影ができます。ただし、波が高い場所でのご使用はお避けください。

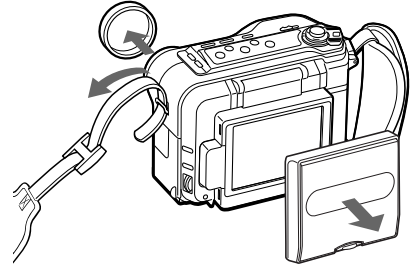
ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ 東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

ビデオカメラレコーダーを準備する

DCR-SC100の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 ショルダーベルト、遮光フード、レンズキャップをはずす。

コンバージョンレンズ、特殊フィルターなどのアクセサリ類もすべて取りはずしてください。

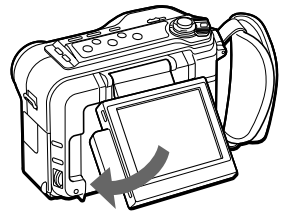


2 バッテリーを取り付ける。

バッテリーの残量を確認してください。

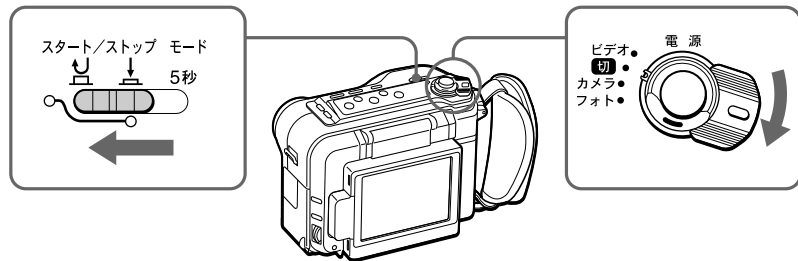
3 カセットを入れる。

4 液晶画面は本体に閉じる。



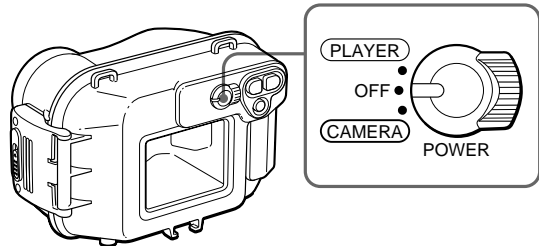
5 スタート/ストップモードスイッチを「出」にして、電源スイッチを「切」にする。

LANC㊦(リモート)端子の接続により、録画の操作はスポーツバックのボタンで行います。



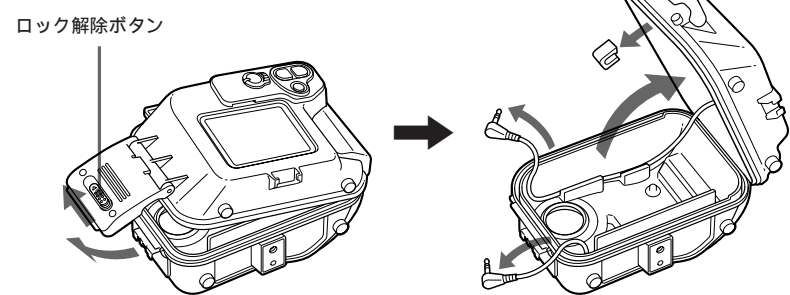
ビデオカメラレコーダーを取り付ける

1 スポーツバックの電源スイッチが「OFF」になっていることを確認する。



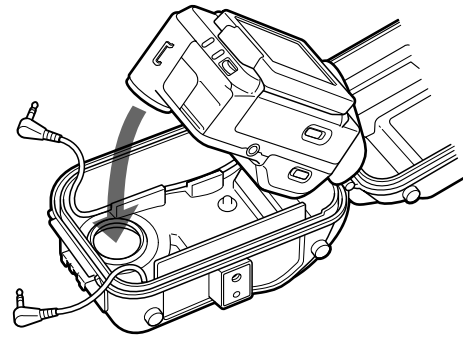
2 スポーツバックを開ける。

- ① ロック解除ボタンを矢印の方向へずらし、バックルをはずす。
- ② ボディーを開き、スぺーサーをはずしてプラグを外に出す。スぺーサーは必ず保管しておいてください。
- ③ スポーツバック内部の砂やゴミを取り除く。



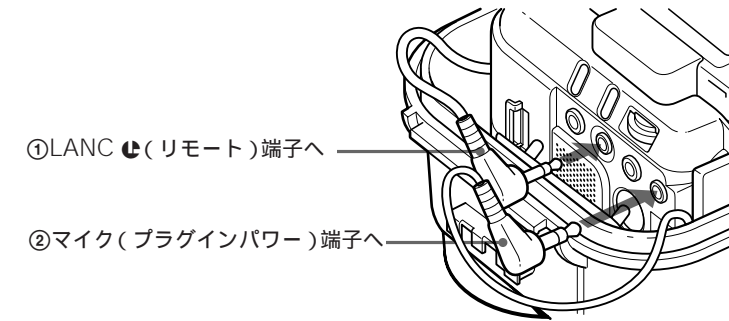
3 ビデオカメラレコーダーをスポーツバックに入れる。

スポーツバックのレンズや液晶画面窓が汚れていないか確認してください。ビデオカメラレコーダーとスポーツバックのレンズ部分を合わせて入れます。



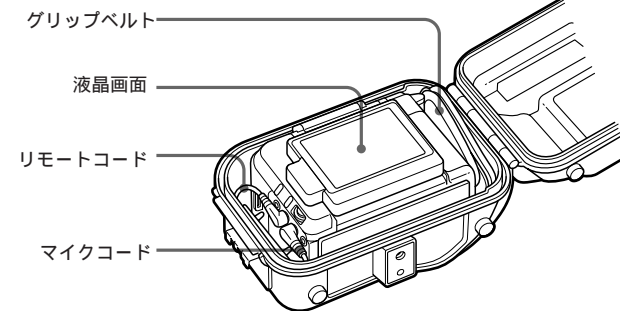
4 リモートプラグをLANC㊦(リモート)端子へ(①)、マイクプラグをマイク(プラグインパワー)端子へ(②)接続する。

プラグが接続しにくい場合は、ビデオカメラレコーダーを少し持ち上げてください。



5 グリップベルトやリモートプラグ、マイクプラグのコードが、スポーツバックからはみ出していないことを確認する。

ビデオカメラレコーダーの液晶画面が浮かないように、本体に軽く押し付けてください。

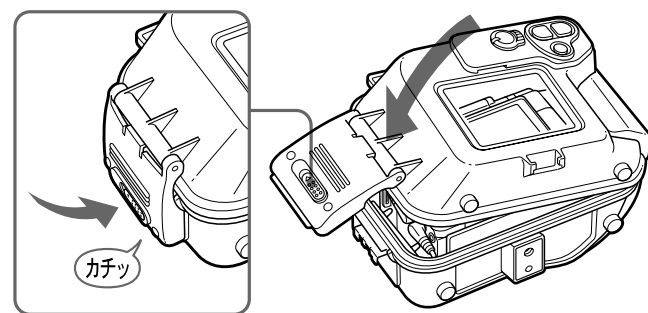


6 スポーツバックの防水パッキンや溝に、砂やゴミがないことを確認する。

砂やゴミが付着したままふたを閉めると、傷が付いて浸水の原因になります。砂やゴミは指先で取り除いてください。

7 ボディーを閉じて、バックルを締める。

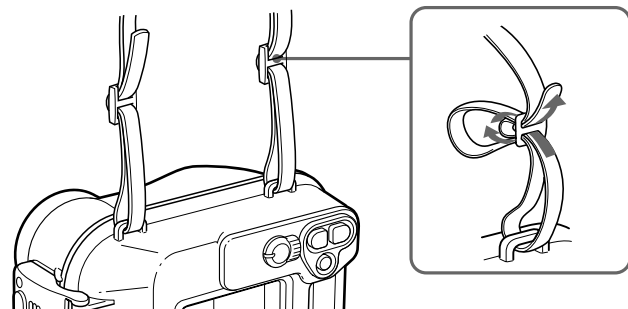
バックルを、カチッとロックされるまで締めます。



スポーツバックに砂やゴミがいたら

防水パッキン、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、防水パッキンに薄く均一にシリコングリスを塗ります。

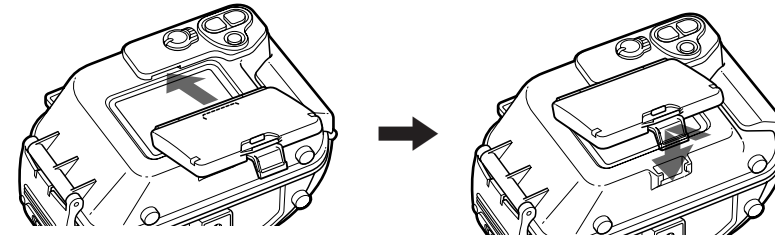
ショルダーベルトを取り付ける



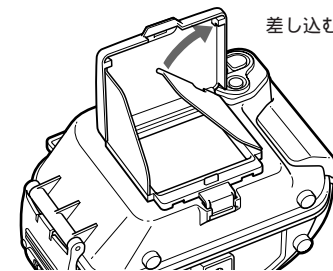
付属の遮光フードを使う

光が反射して液晶画面が見にくくなることや、液晶画面窓に傷がつくのを防ぎます。撮影しないときや持ち運ぶときもつけておいてください。撮影の前にきちんと組み立ててからご使用ください。

- ① 操作ボタン下の取り付け部に、遮光フード上部の突起を差し込む。
- ② スポーツバック底面の取り付け部に、遮光フードのL字型の突起部を差し込む。



- ③ 遮光フードを開いて、両側の羽をフードに差し込む。



閉じるときは

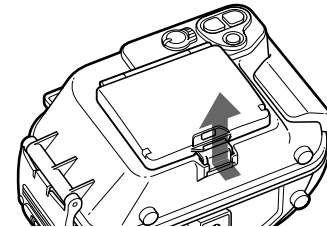
両側の羽を先にたたんでから、閉じます。

ご注意

- ・ 遮光フードを持って、持ち運ばないでください。
- ・ 水中での撮影の際は、紛失をさけるため、できるだけはずして撮影してください。

取りはずすときは

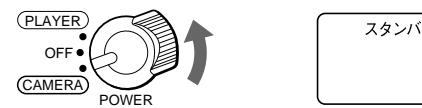
遮光フード下部の突起を押しながら、矢印の方向にずらしてください。



撮影する

撮影は、スポーツバックを両手でしっかり持って行ってください。

1 電源スイッチを「CAMERA」にする。



スタンバイ

2 START/STOPボタンを押す。

撮影が始まります。

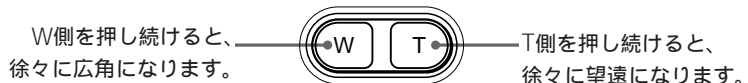


録画

ズームングをするには

速度が2段階に変化します。

少し押しすとゆっくりズームングし、さらに押しすと早くズームングします。



撮影を止めるには

START/STOPボタンを押してから、電源スイッチを「OFF」にします。

撮影を一時的に止めるには

START/STOPボタンを押します。

もう1度押しすと撮影が再開します。

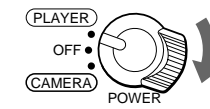
ご注意

- ・ 撮影一時停止状態が5分以上続くと自動的に電源が切れます。バッテリーの消耗を防ぐためと、テープを保護するためです。撮影スタンバイに戻すには電源スイッチを「OFF」に戻してから再び「CAMERA」にします。
- ・ 電源スイッチは軽い衝撃によりスイッチが入ってしまうことがあります。特に持ち運びの際はご注意ください。

リモコンを使って画像を見る

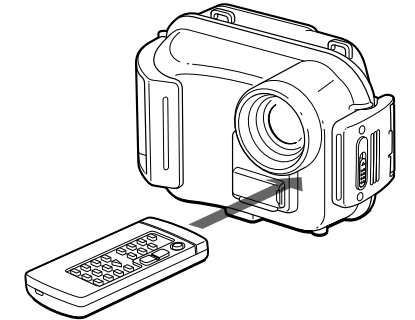
DCR-SC100のリモコンを使って、画像を見ることができます。音声は聞こえません。

1 電源スイッチを「PLAYER」にする。



2 リモコンの▶を押す。

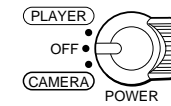
レンズ窓とマイクの間に向けてください。



その他の操作(停止、巻き戻し、早送り)もすべてリモコンで行ってください。

ビデオカメラレコーダーを取りはずす

1 電源スイッチを「OFF」にする。

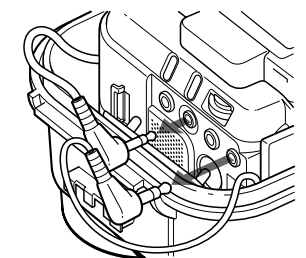


2 液晶画面側を上に向けて置く。

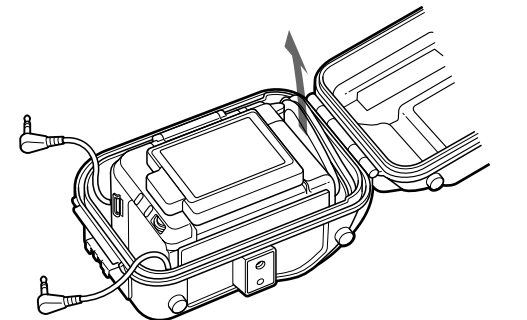
3 バックルをはずして開ける。

4 リモートプラグとマイクプラグをはずす。

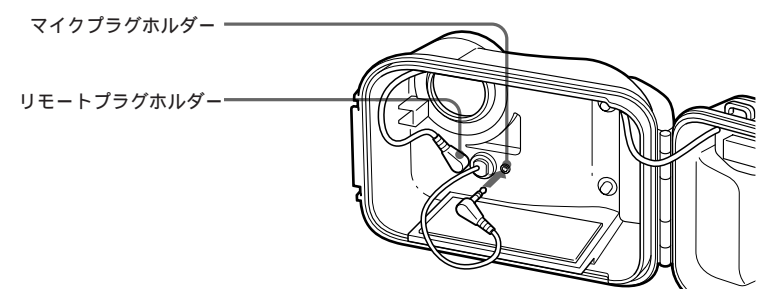
必ずプラグを持ってはずしてください。



5 ビデオカメラレコーダーのグリップベルトを持って、取り出す。



6 プラグをプラグホルダーに納める。



ご注意

- ・ スポーツバックを開けるときは、スポーツバックと体についた水分を十分にふき取ってから開け、水滴が内部のビデオカメラレコーダーにかからないようにしてください。
- ・ ご使用後は、「お手入れのしかた」にそって、お手入れ、保管をしてください。